

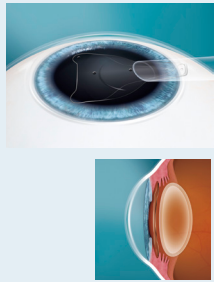
話題の近視治療ICL・IPCLやレーシックも 豊富な選択肢から叶える「視力矯正」

近年は遺伝的な要因に加え、スマホやパソコンの使用時間の増加、屋外活動の減少により、世代を問わず近視の増加が問題となっています。今回は、佐藤総院長に「視力矯正」治療についてお話を伺いました。

目の中に眼内コンタクトレンズを埋め込む手術

ICL・IPCL

[20代～40代の人が適応]



【メリット】

- ・強度近視に対応可
- ・ドライアイになりにくい
- ・レンズを外せば元に戻る安心感
- ・レーシックより打撲に強い

【デメリット】

- ・夜間に光が気になることがある
- ・TASS(非感染性の炎症)・白内障・緑内障などまれな合併症
- ・まれにサイズ不一致等で入替の可能性あり
- ・費用がレーシックより高い

※手術は両目で15分程度で完了し、レンズは手入れ等はなしに半永久的に眼内で安定します
※手術中の痛みはありません

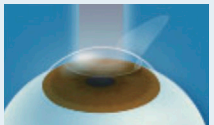
TASSとは・・・Toxic Anterior Segment Syndrome
白内障などの手術から24時間以内に前眼部に発症する急性、非感染性炎症性疾患で点眼加療等が必要

ICL (自由診療)	(乱視矯正なし) 片眼27万5000円(税込)、両眼55万円(税込)
	(乱視矯正あり) 片眼33万円(税込)、両眼66万円(税込)
IPCL (自由診療)	(乱視矯正なし) 片眼26万4000円(税込) 両眼52万8000円(税込)
	(乱視矯正あり) 片眼31万9000円(税込) 両眼63万8000円(税込)

※支払いは、医療ローン(最大60回払いまで)も利用可能。詳細は問い合わせください。
※術後1年間の診察は無料。術後1年以上以降の定期検診費用は1回の受診につき2200円(税込)
※度数ズレや視力低下が起きた場合は、術後3年間は無料でICL入替保証あり。

レーザーで角膜表面を整え視力を矯正する手術 レーシック

[20代～40代の人が適応]



メリット

- ・乱視矯正が高精度
- ・ハロー・グレアが少ない
- ・眼内にレンズを残さず真の裸眼
- ・費用がICLより安い

デメリット

- ・夜間に光が気になることがある
- ・ドライアイが出ることもある
- ・強い近視だった場合は数年後に近視が戻ることがある
- ・打撲で目の表面がはがれることがある

※手術は両目で15分程度で完了し、翌日には視力が回復します
※手術中の痛みはありません

レーシック (自由診療)	片眼19万8000円(税込) 両眼39万6000円(税込)
-----------------	-------------------------------

※支払いは、医療ローン(最大60回払いまで)も利用可能。詳細は問い合わせください。
※術後1年間の診察は無料。術後1年以上以降の定期検診費用は1回の受診につき2200円(税込)
※追加照射が必要になった場合は初回手術から3年間は無料。

強度近視やドライアイでも可能な「ICL・IPCL」

ICLやIPCLは黒目と白目の間を約3mm切開し、そこから虹彩(茶目)の裏に眼内コンタクトレンズを埋め込みます。強い近視、角膜が薄い、ドライアイの方にも行うことができますが、レンズを入れる隙間が狭い方は手術を受けることができません。

まれにレンズの大きさが合わなかったり、乱視軸がずれるやうい場合にはレンズ交換が必要となることもあります。また、TASSという無菌性の炎症反応が起きた場合は、点眼での治療が必要になります。

強度近視やドライアイでも可能な「ICL・IPCL」

「当院には5人の眼科専門医が在籍し、目の疾患におけるほぼすべての治療が可能です。安心してご相談ください。」

遺伝的に近視であったり、環境的な要因で目が悪くなった場合、「よく見える」ようにするためには、近視や乱視などを矯正する必要があります。方法として一般的には眼鏡やコンタクトレンズがありますが、最近話題のICL・IPCLやレーシックなど「手術治療」も選択肢として挙げられます。

それぞれメリットやデメリット、手術の適用条件があるので、自分に合った治療を選択することが大切です。また、万が一術後に合併症が起こった場合も、フロッパー体制が整っている医療機関を選ぶことが重要です。

眼科のほぼ全分野に対応する「佐藤眼科」だからできる、さまざまな視力矯正の提案

加齢による視力低下にも対応

ICL・IPCLやレーシックはいずれも画期的な視力矯正手術ですが、これらの手術では老眼は治すことができません。40歳を超えてくると近くが見えにくくなる傾向があります。「しかし白内障が出てきた場合は、多焦点眼内レンズを用いた多焦点白内障手術を行うことで、遠くから近くまで裸眼で生活することができるようになります」と佐藤総院長。「ただ、多焦点レンズによつては見え方の質がやや低下したり、夜間に光がにじむなどのデメリットもありますので、まずは気軽ににご相談ください。最適なレンズをご提案させていただきます。」

ご不明な点、ご希望などはお気軽ににご相談ください。あなたに最適な視力矯正方法をご提案します。

加齢による視力低下にも対応

新しいレーザー機器による、より早く正確に見え方も向上した「レーシック」

角膜をレーザーで整えて視力を矯正するレーシックは、ICLやIPCLを行えない(レンズを入れる隙間が狭い)方でも施術可能です。

「当院ではフェムトセカンドレーザーという特殊なレーザーを用いてフラップを作り、精密なエキシマレーザーで治療を行いますので、ICLやIPCLよりもより正確に近視や乱視の矯正が可能です。ただし、近視がとも強い方、ドライアイが強い方、術後に目を打撲する可能性がある方はこの手術に向いていません。また、まれに元々近視が強い方は数年かけて近視が少し戻ることがありますが、その際は追加照射も可能です。」

新しいレーザー機器による、より早く正確に見え方も向上した「レーシック」

毎週火曜日
15:25～15:30

過去の放送をお聴きいただけます。

佐藤眼科 樹尚会

チャンネル登録をお願いします!

佐藤眼科 大牟田院

佐藤眼科 内科

佐藤眼科 熊本院

佐藤眼科 大牟田院

佐藤眼科 内科

佐藤眼科 熊本院

佐藤眼科 大牟田院

佐藤眼科 内科

佐藤眼科 熊本院

佐藤眼科・内科(荒尾院)、熊本院でも検査・受付可能です。最寄りの眼科にてご受診ください。